

---

## 三井不動産とMoment Factory、新たなエンターテインメント事業に向けパートナーシップを開始 ポケモンの世界に入り込めるイマーシブエンターテインメント 2027年春、欧州よりスタート

---

### 本リリースのポイント

- ・三井不動産、Location-Based Entertainment(ロケーションベースエンターテインメント)領域に参入。世界的なマルチメディアスタジオ [Moment Factory](#) とのパートナーシップを始動し、ポケモンとのコラボレーションによる新たな感動体験を展開。
- ・ポケモントレーナーとしてポケモンの世界を体験できる、新たなイマーシブエンターテインメントプロジェクトが、2027年春より欧州で開始予定。

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)と、世界的マルチメディアスタジオ Moment Factory Studios Inc. (本社:カナダ・モントリオール、共同創業者兼 Chief Innovation Officer: Dominic Audet 氏、以下「Moment Factory」)は、株式会社ポケモンインターナショナル(The Pokémon Company International、本社:米国・シアトル)と協業し、来場者自身がポケモントレーナーとしてポケモンの世界を体験できる、新たなエンターテインメントプロジェクト(以下、「本プロジェクト」)を発表しました<sup>※1</sup>。

### ■三井不動産とMoment FactoryによるLocation-Based Entertainment 領域でのパートナーシップ開始

三井不動産は、世界的なマルチメディアスタジオである [Moment Factory](#) と、Location-Based Entertainment(ロケーションベースエンターテインメント<sup>※2</sup> / 以下「LBE」)領域におけるパートナーシップを開始しました。本プロジェクトは、その第一弾となる取り組みです。両社はエグゼクティブプロデューサーとして、それぞれの強みを融合し、新たな体験価値の創出を目指します。



三井不動産は、長期経営方針「& INNOVATION 2030」において、「産業デベロッパー」への進化を掲げ、エンターテインメント領域を重要な成長領域の一つと位置付けています。

本プロジェクトは、その戦略のもと三井不動産が事業主体として推進するLBE事業の一環です。三井不動産はこれまで、街づくりを通じて、人と人がつながる場を創出してまいりました。本プロジェクトにおいても、そうした思想に基づき、リアルな場・コンテンツ・テクノロジーを融合し、新たな感動体験の創出を目指しています。

### ■新たなポケモン体験

本プロジェクトは、多様な専門性を持つグローバルチームの協働により実現します。世代、あるいは国や地域を越えて愛されるポケモンのブランド、Moment Factoryの先進的な演出力、そして三井不動産のリアルな場づくりにおける知見とネットワーク、それぞれの強みを掛け合わせることで、ここでしか味わえない体験を創出します。

インタラクティブ技術と革新的なストーリーテリングを通じて、ポケモンの世界観をリアルな空間で表現。ファン同士が現実世界でつながりながら、ポケモントレーナーとして冒険できる、没入感あふれる体験を提供します。

2027年春に欧州で開始し、複数の地域で巡回開催を予定しています。詳細は今後順次発表いたします。

※1 海外での公表リリース([Moment Factory and Mitsui Fudosan Enter Long-term Strategic](#))

※2 Location-Based Entertainment とは、特定の場所に足を運ぶことで体験できる没入型エンターテインメントの総称

## ■事業者からのコメント



【株式会社ポケモンインターナショナル(The Pokémon Company International) メディア制作部門責任者 Andy Gose 氏】

「世界中の人々は常に、新しく意義のある形でポケモンの世界を体験することを楽しみにしています。本取り組みがトレーナーの皆様喜びをもたらし、コミュニティをひとつにする情熱と冒険心をさらに高めていくことを期待しています。」



【Moment Factory 共同創業者兼 Chief Innovation Officer Dominic Audet 氏】

「本パートナーシップは単なる協業ではなく、ビジョンの融合です。人々とブランド・空間との関わり方において、新たな世界基準を打ち立てたいと考えています。三井不動産の卓越したネットワークと当社のクリエイティブ DNA を掛け合わせ、革新的なプロジェクトを実現できることを楽しみにしています。」



【三井不動産株式会社 常務執行役員 山下和則】

「私たちは Moment Factory との本パートナーシップを始動できることを大変光栄に思います。人・場所・コミュニティをつなぐ、リアルならではの体験価値を通じて、新たな価値創出に挑戦してまいります。世界中で愛されるポケモンとのコラボレーションを通じて、まだ見ぬ感動体験を多くの方々へ届けていけることを心から楽しみにしています。」

## ■事業者紹介

### Moment Factory について

Moment Factory は、没入型体験やマルチメディア演出を手がけるグローバル・エンターテインメントスタジオです。25年にわたり、ストーリーテリング、インタラクティブデザイン、音楽、照明、特殊効果などを融合し、世界各地で600件以上のプロジェクトを展開しています。モントリオールに本社を構え、パリ、東京、ニューヨーク、シンガポール、アブダビ、リヤドなど世界各都市に拠点を展開。ピリーアイリッシュ、モントリオール・ノートルダム大聖堂、チャンギ国際空港、ユニバーサル・スタジオ、FIFA、Miral など様々な国のクライアントとのコラボレーション実績を有しています。

Moment Factory オフィシャルサイト:<https://momentfactory.com/>

以下、代表事例



TWICE, This Is For World Tour  
(日本他)  
Moment Factory, 2025



AURA Invalides  
(フランス・パリ)  
Moment Factory, 2023



Real Madrid Games  
(スペイン・マドリド)  
Moment Factory, 2025



Phish at Sphere  
(アメリカ・ラスベガス)  
Moment Factory, 2024

### 株式会社ポケモンインターナショナル(The Pokémon Company International)について

株式会社ポケモンインターナショナル(The Pokémon Company International)は、アジア地域以外におけるポケモン事業を統括し、ブランド管理、ライセンス展開、マーケティングに加え、ポケモントレーディングカードゲーム、テレビアニメシリーズ、ホームエンターテインメント、および公式ポケモンウェブサイトの運営を担っています。ポケモンは1996年に日本で誕生し、現在では世界で最も人気のある子ども向けエンターテインメントコンテンツのひとつとなっています。詳細は [www.pokemon.com](http://www.pokemon.com) をご覧ください。

## ■三井不動産のエンターテインメントの取り組み

三井不動産は、これまでエンターテインメントの要素を取り入れた街づくりを手掛けてきました。2021年の東京ドームのグループ会社化を契機に取り組みを一層強化し、2024年4月に策定した長期経営方針「& INNOVATION 2030」においても、「エンターテインメントを通じた感動体験の創出」を重点領域の一つに位置付けています。

その一環として、約1万人規模の多目的アリーナ「LaLa arena TOKYO-BAY」の開業をはじめ、エンターテインメントを体験できる場の整備を進めています。また、「MIYASHITA PARK」における施設全体の体験型メディア化を通じ、アーティストやコンテンツの発信拠点として都市空間を活用するなど、日常とエンターテインメントが融合する空間づくりに取り組んでいます。さらに、京都府立植物園の開園100周年記念事業としてナイトアートイベント「Light Cycles Kyoto」を実施するなど、リアルな場での体験価値の創出も推進しています。

今後、多様な場とコンテンツを掛け合わせ、エンターテインメントの力を活かした街づくりを推進してまいります。



東京ドームシティ  
(東京都文京区)



LaLa arena TOKYO-BAY  
(千葉県船橋市)



Light Cycles Kyoto  
(京都府左京区)

## ■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

### 【参考】

・「グループ長期経営方針」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

[https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)